

# 知って欲しい! あなたの「働く」を守るもの ～「労働条件通知書」を作ってみよう!～

**ねらい：**労働基準法が定める「労働条件通知書」がどのようなものであるかを理解させる

授業スタイル	グループ(ペア)ワーク+説明
扱うことが適切な教科等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民科[労働問題、労働者の権利、等]</li> <li>・総合的な学習の時間</li> </ul>
どのタイミングで扱うか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科での場合、適切な時期に</li> <li>・それ以外、随時</li> </ul>
配当時間数	1時限(50分を想定)
この授業で身に付けて欲しい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身近な知識や感覚から想像して未知の事柄について考える力</li> <li>・法律を現実に合わせて考える力</li> <li>・ペア又はグループで話し合い、考えを一つにまとめる力</li> </ul>
この授業で理解させたいこと、気づかせたいこと、身に付けて欲しい知識等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法の意義</li> <li>・生きて働く知識としての労働法</li> <li>・労働契約を結ぶ上で留意すべき点</li> <li>・法律の現実問題への当てはめ方</li> </ul>
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が生きる上での「トラブル」に関する問いかけと、働く上でのトラブルの紹介</li> </ul> </li> <li>②説明：労働法とは何か</li> <li>③ワーク：「労働条件通知書」づくり(ペア又はグループでのワーク)</li> <li>④共有・振り返り</li> </ul>
使用する教材等(読み物、ワークシート、動画、ウェブサイト等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・添付のワークシートと「模擬『労働条件通知書』」</li> <li>・厚生労働省『知って役立つ労働法』、『まんが知って役立つ労働法Q&amp;A』</li> <li>・厚生労働省作成資料「高校生等アルバイトの労働条件に関する自主点検表」</li> </ul>
協働する外部人材等	労働法と労働契約に詳しい者(必須ではない)
協働の際のこの授業案に特徴的な留意点等	実際の働く上でのトラブルの話をしてもらうようお願いしておくとうい
学習の評価の方法の例	ワークシートと振り返りシートによる
この授業案からの発展的な学習の可能性について	厚生労働省作成の冊子やそのウェブサイト上で学べる教材オンライン学習ツールによる個別学習又は集団学習

## 授業の流れ

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	進行	内容	留意点・備考
0:00 (5分)	導入	○授業者「働く上でいろいろトラブルがあるんだ。例えばワークシートの【1.】の例を見てみよう」 →ワークシートの【1.】について生徒に考えさせる ※新聞記事を用意した場合は、それを生徒に読ませてから、授業者が「これは・・・という事例だね」とまとめる。	・ワークシートを配布 ・授業者が自分で一つか二つ新聞記事を探し用いる(必須ではない)
0:05 (5分)	説明	○労働法は何のためにあるのか、基本的な点について、別添の「労働法説明資料A」等を用い簡潔に説明する	説明資料を用意しておく
0:10 (30分)	ワーク(活用)「労働条件通知書」づくり	○ワーク ①ペア又はグループで労働条件通知書を作ってみる ・自分がアルバイト(就職)するとしたら、自分が人を雇うとしたら、前もって何を決めておかないと後で困りそうか、という観点で、模擬「労働条件通知書」を用い考える  ②各ペア(グループ)で労働基準法が求めている「必ず労働条件通知書に記載すべき事項」を確認し、各ペア(グループ)で記入した労働条件通知書の内容が、法令が求めるものになっているかどうかを確認する  ※「知って役立つ労働法」などを参照する  ③時間の範囲内で、いくつかのペア(グループ)からクラスに向けて発表してもらう ※その際、使用者側の生徒と雇用される(労働者側の)生徒役を決めさせ、「私〇〇は、××さんを、・・・の条件で雇います」などと、現実にあるように説明させると臨場感が出てよい  ※授業者から、労働基準法が明示を求めている労働条件は、それが必要不可欠な大事な事項(最低基準等)であることを簡単に説明する	・生徒をペア又はグループに分ける ・模擬「労働条件通知書」を配布
0:40 (10分)	共有と振り返り	○グループで話し合い、クラス全体で共有  ○振り返りシート等を用いて生徒に行わせる	・振り返りシートの配布 ・各自記述して提出

1章

2章

3章

11

4章

5章

6章

7章

8章



# 模擬「労働条件通知書」

(【 】を埋めてみよう)

【 】 殿		【 】年【 】月【 】日
事業場名称【 】		使用者職氏名【 】
契約期間	期間の定めなし	
就業の【 】	【 】	
従事すべき【 】の内容	【 】	
①【 】	1 始業・終業の時刻等 始業【 】時【 】分 終業【 】時【 】分 2 休憩時間【 】分 (※1 勤務シフトによる場合は、上記1を基本としつつ、勤務シフト表により定められた始業・終業時刻による。)	
勤務日及び休日	1 勤務日：毎週【 】曜日 (週毎に勤務日が定められていない場合は) 週当たり【 】日 2 休日：毎週【 】曜日 (週毎に休日が定められていない場合は) 週当たり【 】日	
休 暇	年次有給休暇 6か月継続勤務した場合→ 10日(例)	
②【 】	1 基本賃金 時間給【 】円 2 時間外労働・深夜労働に対して支払われる割増賃金率 イ 時間外【 】%、ロ 深夜【 】% 3 昇給(【 有 】・【 無 】)	
退職に関する事項	自己都合退職の手続(退職する 14日 以上前に届け出ること)	

1章

2章

3章

11

4章

5章

6章

7章

8章

## 振り返りシート

1. 今日の授業で模擬「労働条件通知書」を作ってみて、感じたことや思ったことを書いてください。

2. 「これは知らなかった!」「新しいことを学んだなー!」と思ったのはどういうことですか?

3. 今日の授業を受けてみて、「さらにコレを勉強してみたい!」と思ったことは何ですか?

4. 今日の授業について感想を自由に書いてください。

年 月 日 年 組 名前：

確かめよう!  
労働条件。



「アルバイトの労働条件を確かめよう！」  
キャラクター「たしかめたん」